宮古市と姉妹都市締結20周年

本市と宮古市が平成18年11月3日に姉妹都市となり、本年で20周年を迎えました。節目を祝い、両市で開かれた記念セレモニーのほか、今日までつないだ交流の歩みを振り返ります。

■問い合わせ先　まちづくり推進課定住促進係（☎・内線1452）



▲ 市産業まつり内で行った姉妹都市締結20周年記念セレモニーで、宮古市から贈られた大漁旗（市役所１階 結のひろばで見ることができます）



姉妹都市締結20周年を記念して宮古市に贈った記念の盾を披露する中村宮古市長（左）と佐々木八幡平市長（10月４日、宮古市東北ヒロセシーアリーナ）▶

それぞれの記念セレモニーで20周年の節目を祝う

八幡平市

市は、９月５日に開いた産業まつりに宮古市の中村尚道（なおみち）市長を招き、宮古市との姉妹都市締結20周年を祝う記念セレモニーを行いました。

セレモニーで佐々木市長は「交流を行政だけにとどめず、市民交流へと広げていきたい」と力を込めると、中村市長は「さまざまな形で続けてきた交流を、今後さらに深めていきたい」と今後を見据えました。

また同日は、宮古市から本市に、節目を記念する大漁旗が贈られました。

宮古市

10月３日に宮古市で開かれた同市産業まつりに佐々木市長が出席。同日に行われた同記念セレモニーでは、浅沢神楽保存会が権現舞を披露したほか、本市から宮古市へ安比塗の盾を贈り、未来へ向けた絆と交流の強化を誓い合いました。

国立公園と鉱山が結んだ縁

海と山とが交歓重ねる

本市と宮古市の交流は、旧松尾村と旧田老町が、それぞれ国立公園エリアを有していることや、鉱山の歴史を持つことなど、地域に共通点があったことをきっかけに始まっています。

昭和61年10月１日に姉妹都市を締結すると、互いの地域を会場に、毎年交互に小中学生の交流会を開催するなど、長年にわたり結びつきを深めてきました。

市町村合併によって、それぞれ八幡平市と宮古市になり、平成18年11月３日に改めて姉妹都市を締結して以降は、互いのイベントを通じた交流を重ねてきました。さらに東日本大震災後は、支援物資を届けたり被災者を招いた子どもたちとの交流事業を行うなど、困難に寄り添い、絆を強めてきました。


3


1


2

1 旧松尾村と旧田老町との姉妹都市調印式（昭和61年10月）

2 旧田老町町民体育大会に参加した旧松尾村選手団（平成８年10月10日）

3 東日本大震災発生後の平成23年３月15日、17日、18日、24日には、米や水など支援物資を搬送

宮古市に行ってみよう

▶ 第47回宮古市田老「鮭・あわびまつり」（11月22日㈰、田老野球場駐車場）

▶ 第30回企画展『黒森神楽～国指定20周年記念展示～』（12月６日㈰まで、崎山貝塚縄文の森ミュージアム）

12月には宮古市、１月には友好都市沖縄県名護市の食材を使った給食を、市内の小中学校に提供予定です。



八幡平コーヒー　店主
菊池 春夫（はるお）さん
（柏台二丁目）

宮古市（旧田老町）には、高校時代から親交のある友人が住んでいて、とても身近に感じる地域です。

また、旧松尾村役場や観光協会から声を掛けてもらい、昨年までの約24年間、旧田老町や宮古市のイベントでサイフォン式コーヒーを提供してきましたし、行けば、コーヒー好きな沿岸の人から「おいしいね」と声を掛けられ、うれしかった思い出があります。

宮古市の皆さんには、これからも八幡平市にたくさん遊びに来てほしいですね。